

文部科学省最先端研究基盤共用促進事業
NMR 共用プラットフォームシンポジウム 2018
～創薬から先端材料まで高磁場 NMR が切り拓く外部共用の最前線～

<http://nmrpf.jp/symposium2018/>

開催日時: 2018 年 10 月 16 日(火) 10:00～(受付: 9:30～)

開催場所: 日本橋ライフサイエンスハブ (<http://www.nihonbashi-lifescience.jp>)

参加費: 無料

【主旨】

NMR 共用プラットフォームでは、最先端 NMR 装置・技術の共用を通じて、生体高分子、天然物、無機材料、高分子等の幅広い利用分野における研究開発の促進を旨とした活動を進めてきました。本シンポジウムでは、我々の特色である高磁場 NMR 装置が、アカデミアや産業界における研究開発においてどのような形で活用されているかを、先進的な事例を通してユーザーよりご紹介頂くとともに、最先端技術開発の促進、複数の施設を活用したソリューションや、NMR 技術の理解を深めるオープンコースウェアの配信など、事業における活動の進捗についても実施機関より発表をおこなう予定です。

【プログラム】

- 10:00～ 開会挨拶
- 10:05～10:20 事業概要説明 木川隆則(NMR 共用プラットフォーム代表・理化学研究所)
- 10:20～10:40 基調講演 嶋田一夫(東京大学)
『高磁場 NMR のライフサイエンスへの応用』
- 10:40～12:00 ユーザーからの事例報告
日下康成(積水化学工業株式会社)
『素材メーカーにおける評価分析技術の活用～NMR を中心に』
半沢宏之(第一三共 RD ノバーレ)
『製薬企業における高磁場 NMR の活用と期待』
神田泰治(日本合成化学工業株式会社)
『高磁場 DNP-NMR を用いた高分子材料の架橋構造の解析
(ポリビニルアルコールの耐水化機構の解明)』
橋本康博(旭化成株式会社 基盤技術研究所)
『企業における高磁場 NMR の活用～診断薬開発への貢献事例～』
- 12:00～12:40 実施機関からの活動報告・今後の展開
理化学研究所 石井佳誉
横浜市立大学 西村善文
大阪大学 藤原敏道
北海道大学 相沢智康
- 12:40～ 閉会挨拶
- 12:50～ 技術相談会(希望者のみ)

参加登録等詳細については下記の URL をご参照ください

<http://nmrpf.jp/symposium2018/>

